

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 29, No. 5 ACTA UROLOGICA JAPONICA May 1983

泌尿器科紀要

第29巻 第5号 1983年5月



単睾丸症の臨床	布施 秀樹・ほか	479
男子不妊症の内分泌動態	安川 明廣・ほか	485
精索静脈瘤の臨床的研究		
2) 辜丸血流量 (内精動脈血流量) と内精静脈血テストステロン濃度を中心に	高崎 登・ほか	493
C T ・超音波断層法・動脈造影法による腎癌術前 stage 診断の試み	増田 宏昭・ほか	501
Cis-diamminedichloroplatinum (II) (CDDP) を中心とした多剤併用化学療法時にみられる腎障害, ことに低マグネシウム血症について	川村 寿一・ほか	509
新しい内視鏡システムによる膀胱鏡写真撮影	藤田 公生・ほか	517
膀胱癌患者の細胞性免疫能に関する研究		
第9報: 末梢血リンパ球の specific S.I. について	西尾 正一・ほか	521
Cephapirin および Cephalothin の静脈注射による		
静脈炎について (英文)	吉田 修・ほか	527
前立腺肥大症の保存的療法 — オキシンドロンの臨床的検討と		
尿流量測定・超音波断層法による評価—	秋山 隆弘・ほか	535
複雑性尿路感染症に対する Ceftrizoxime (FK 749) の臨床的検討	松浦 健・ほか	541
インポテンス患者に対する八味地黄丸の効果	西澤 芳男	547
除睾後9年目に再発した辜丸腫瘍 (non-seminomatous germ cell tumor) の1例	佐竹 一郎・ほか	559
Oncocytoma と腎細胞癌が同一腎にみられた1例	荒井 陽一・ほか	569
高γグロブリン血症患者にみられた後腹膜腫瘍による尿管の encasement 現象	大森 孝平・ほか	575
泌尿器系重複悪性腫瘍の文献的・統計的考察 一附. 同時性診断・同時治療をなした重複癌の1例 (膀胱と直腸)—	荒木 勇雄・ほか	583
原発性膀胱腺癌の1例	服部 良平・ほか	593

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

禁帯出

到着後 1ヶ月間

編 集 後 記

食事だけは欠かしたことがなかったから、寝食を忘れるというほどのこともなかったわけだ。でも、ほんとうに、毎日、紀要に明け暮れた5年。皆さんのご尽力でここ2年ほどは大変、楽になったが、思い出されるのは、紀要との苦闘のことばかり。その結果がこの態とは、人間ひとりだけでできることは、こんなもんだらう。日頃の言葉に惑わされて、力の極みを見極められなかった。このこと、反省やら、悔悟やら、しきり。

最後に、泌尿器科紀要にご投稿いただいた先生方、とくに、私が編集に携わるようになってから、ご投稿いただき、鞭勵して下さった諸先生方に深甚の謝意を呈します。今後は、外から本誌の変遷を見ていこうと思います。

人は嘘にて暮らす世に何ぞよ燕子が実相を談じ顔なる (閑吟集)

(T.K.)

購 読 要 項 (1983年1月改定)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込みば所定の用紙を送付します。

投 稿 規 定 (1982年6月改定)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 長さは制限しないが簡潔にする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (i) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名(山田：または山田・ほか：)と、2語(例：前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す。
 - (ii) 英文抄録：ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はト

リミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。様式については本誌の図・表を参照する。

- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。和文は楷書で、欧文はタイプする(例：山田^{1,3,7)}, 田中ら^{1,3-10)}によると)

雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年

単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
- (9) 編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。

3. 掲 載

- (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
- (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。
- (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。

4. 別 刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

編集委員： 石神 襄次 前川 正信 宮崎 重 新谷 浩
 園田 孝夫 友吉 唯夫 吉田 修(主 幹)

泌尿器科紀要 第29巻 第5号 1983年5月25日 印刷 1983年5月31日 発行

発行 吉田 修 顧問 加藤 篤二 発行所 泌尿器科紀要刊行会

〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入